

令和3年度 全国公立学校教頭会

総務・調査部

の活動について

令和3年度 全国公立学校教頭会 総務・調査部長

山口 靖博

1 総務調査部の基本方針と活動内容

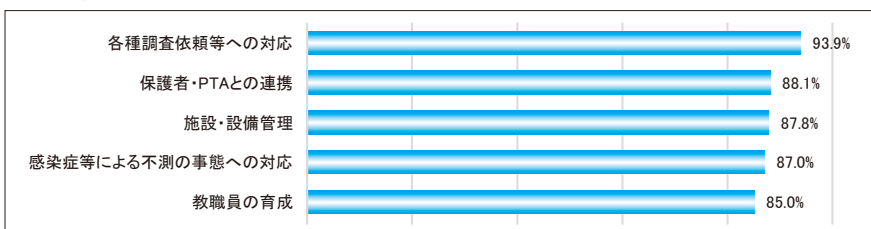
全国公立学校教頭会 総務・調査部の基本方針は、
 (1)職能団体として、副校長・教頭の社会的地位の向上、学校現場における教育活動の充実と教員の働き方改革に向けた要請活動の充実を図る。
 (2)全国小中学校の副校長・教頭による調査に基づき、教育現場の現状や実態を的確に把握する調査を実施、資料を作成し、政策提言能力を高め、要請活動に活かす。
 の2点です。この基本方針に基づき「全国公立学校教頭会の調査」を実施しました。またその他に「全国要請推進部長会」「全国公立学校教頭会佐賀大会（第6分科会）」の企画・運営を行いました。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症に伴う対応から、いずれもオンラインでの実施となりました。対面形式での開催はできなかったものの、全国の会員をオンラインでつなぎ、情報共有できたことは、コロナ禍の中、新しい取組の形を示すことができたと感じています。

2 令和3年度 全国公立学校教頭会の調査結果から

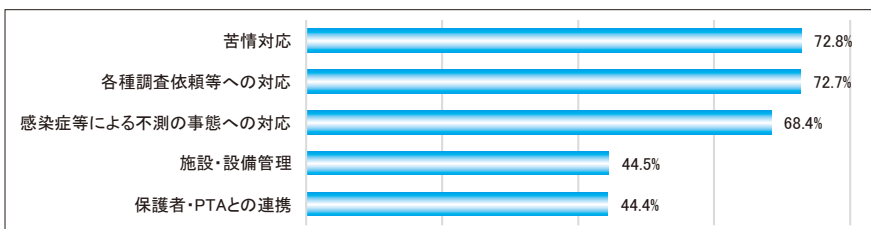
令和3年度も全国約二万八千人の会員を対象として「団体調査」「個人調査」を実施しました。「個人調査」から、令和3年度の特徴的な回答項目を紹介します。

Q 主に時間と労力を費やしている職務（グラフ①）
 Q 負担（疲労やストレス）に感じる職務（グラフ②）

グラフ①



グラフ②



3 令和4年度 全国公立学校教頭会の調査について

令和3年度は、設問に感染症に関する項目を加えました。その結果、2つの設問でいずれも「感染症への対応」が高い割合での回答結果となりました。副校長・教頭を取り巻く環境を如実に反映しているといえます。
 令和4年度は、教育現場の現状や実態を的確に把握するため、新たに「GIGAスクール構想」と「教員数の不足」に関する調査項目を加えて実施します。

① 全国公立学校教頭会の調査（団体調査）

- ・対象者…各単位教頭会・副校長会の代表
- ・実施方法…Googleアンケートフォームで回答
- ・実施期間…令和4年6月8日（水）から令和4年6月24日（金）まで

② 全国公立学校教頭会の調査（個人調査）

- ・対象者…全会員
 - ・実施方法…各会員が全国公立学校教頭会のホームページ（<http://www.kyotokai.jp>）会員専用ページより回答
 - ・実施期間…令和4年6月13日（月）から7月8日（金）まで
- ※副校長・教頭の置かれている現状を的確に把握し、教育現場の課題解決並びに副校長・教頭職の地位向上を図るための資料とするために実施します。

どうぞ、ご協力をお願いいたします。